

住まいの玉手箱

お手入れ **ほうきを見直そう！**

伝統的な掃除道具といえば“ほうき”。江戸時代に畳が普及してから広く使われるようになりました。材料は“ほうきもろこし”という植物で柔らかくなりながらも弾力性にすぐれ、畳の目や家具の隙間につまつたホコリをしゃくっ、しゃくっ、とかき出します。省エネでCO₂を出さず、音も静かな環境に優しい道具です。たまには、電気掃除機を使わず、ほうきでお掃除をしてみてはいかがでしょう。

助成金

4月から始まった“住宅版エコポイント制度”は新築工事とリフォーム工事で内容に大きな違いがあります。リフォームは断熱窓の大きさや数量、断熱材を使った量などによりポイントが決められていますが、新築の場合は定められた省エネ基準をすべて満たし、第三者機関による証明を受ける必要があります。それにかかる費用も少なくありません。詳しくはお問い合わせ下さい。

減税制度

まだ利用される方は少ないようですが、リフォーム工事で“耐震改修工事”“バリアフリー工事”“省エネ工事”を行った場合、所得税の控除や固定資産税の減額の制度があります。制度の詳細や申請方法など、お問い合わせはお住まいの市区町村の役所窓口まで。

No.34-2

あなたならどっち？！

毎回住まいに関するものの中から皆様の関心の高いものを2つとり上げ色々な角度・視点から比べてみようというコーナーです。今回は在来のお風呂とユニットバスです。さあ、あなたならどちらを選びますか？

在来のお風呂 VS **ユニットバス(UB)**

どちらか良いと思う方に○印をおつけください。

<input type="checkbox"/> 左官や防水・タイル貼り等の工程が多く、UBに比べて工期がかかる。	工事の速さ	<input type="checkbox"/> 事前に工場で部材を生産してから現場で組立てる為、短期間で完成！！
<input type="checkbox"/> 浴槽のみ交換やタイル補修等の部分メンテナンスが可能。	リフォーム及びメンテナンスは？	<input type="checkbox"/> 工期が短いので、住まいながらのリフォーム向き。但し、搬入のために居室側の壁などを壊す可能性もあるので確認が必要。
<input type="checkbox"/> カビが発生しやすく、目地掃除が大変。	お手入れ	<input type="checkbox"/> カビが発生しにくく、お掃除が楽。
<input type="checkbox"/> 浴槽や内装素材（木やタイル）を自由に選べ、個性的なデザインも可能です。	デザイン性は？	<input type="checkbox"/> カタログからしか選択できませんが、近年では商品バリエーションも多く、品質が安定している。
<input type="checkbox"/> デザインにこだわるほど高くなりがち。	価格は？	<input type="checkbox"/> グレードによって異なり、予算に合わせて選択できます。
<input type="checkbox"/> UBに比べ寒いですが、暖房器具を設置すれば改善可能ですが。後から取り付ける場合は、寸法や電源等チェックする必要があります。	機能性は？	<input type="checkbox"/> 商品によって異なりますが、壁や床に断熱構造が組込まれており在来より暖かく、浴槽の保温性も良い。

長い間、お楽しみ頂きました「あなたならどっち？」のコーナーは今回が最終回となります。次回からは新しく、「道具の話！」が始まります。職人さんは、仕事によってさまざまな道具を使います。道具は命！という言葉がありますが、このコーナーではいろいろな道具をご紹介します。どうぞお楽しみに！

No.34-3

住まいの 耐震 補強

写真で見る 実例集！

地震大国・日本。突然やってくる大震災では家屋が倒壊・破損し、家屋や家具の下敷きになるという被害が起ります。地震から住まいを守るための耐震補強工事にはさまざまな方法があります。当社で行った施工例の一部をご紹介します。

筋交い

筋交いを増やして地震や風などの横方向の揺れに対しての補強を行ないます。



押入内部の壁に入れた筋交い



室内の壁に入れた筋交い



外壁に入れた筋交い

基礎

建物の基礎に鉄筋を差し込み、コンクリートを流し込んで補強し、建物を面で支えるようにします。



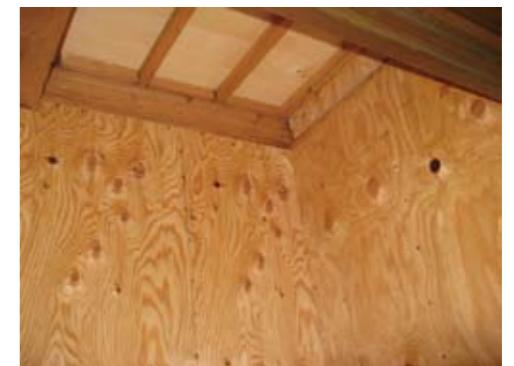
ホールダウン金物

地震時などに柱が土台や梁から抜けるのを防ぐために必要不可欠な金物です。柱脚（柱の下部）と柱頭（柱の上部）の両方に取り付けます。



構造用合板

構造用合板を打ち付けて耐震性を高めることができます。



リフォームの際に
耐震補強も
しました！

小金井市M邸

我が家は築36年ですから、これから暮らしを考え、家の建て替えを検討しました。しかし、今までの家に愛着が深く、大規模リフォームをすることになりました。

リフォームの際に実現したいのが、災害に強く（耐震・耐火構造）、老後の暮らしに対応（バリアフリー、床暖房、IH クッキングヒーター）した住まいでの環境に配慮した素材（ムク材や珪藻土、ペアガラスなど）による施工でした。

床や壁まで剥がす大規模なリフォームでしたので、耐震補強もしっかりできました。以前の家の雰囲気が残りつつ、安全で快適に住み続けられる我が家になり、大満足です。

火打

地震の時などに建物がゆがまないように、土台面、床面、梁面などの隅に火打を入れて、補強します。



金物

土台や梁・柱などの構造材を金物で緊結し、地震の揺れに備えます。



みんなのコラム

好きなことは ことわざ



熱血教師
[会長]守屋辰雄

「人事を尽くして天命を待つ」

人間として最大限の努力をしたうえで結果については天にまかせる。

「志し有る者は事ついに成る」

しっかりした意志があれば、最後にも成し遂げられるものだ。

「健康は富に優る」

健康であることが財よりも何よりも大切だという。

「天網恢々疎にして漏らさず」

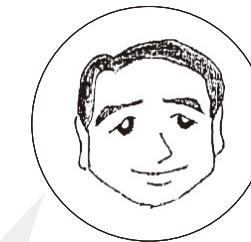
人をこらしめるために張られた網はさも目が粗いようであるが、悪をのがすことはない。悪人は必ず天罰を受けるということ。

「七転び八起き」

祖父が以前入院していた病院の、隣の方の枕元に「俺の人生七転び八起き」と書かれた色紙が飾っていました。小学生であった私は祖父にその意味を尋ね、その方が癌であることを知りました。病気に打ち勝とうと、一生懸命なんだと感じたことを鮮明に覚えています。

今、私が病気も怪我もせず過ごせていることが一番の幸せなんだなあ…と考えさせられるエピソードで、このことわざが好きになりました。

今、この色紙は祖父の部屋に飾られています。



信頼度No.1
[社長]守屋辰彦

「危ない橋も一度は渡れ」

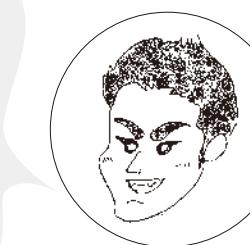
安全を考えてばかりで、物事を慎重に運びすぎていっては、成功することはできない。時には失敗を覚悟してやってみることも必要だということを重ねるとともに責任も重くなり、失敗できない立場となって、ついつい石橋を叩いて渡るようになってきました。しかし、それでは進歩がなくなってしまいます。やはり、自分の考えに自信を持って新しいことにも果敢に取り組んでいくようがんばりたいと思います。



オールマイティママ
[経理]守屋祥子

「笑う門には福来る」

好きなことわざは「笑う門には福来る」でしょうか。笑顔を絶やさず、穏やかに朗らかに過ごしたい。夫や子どもたちへの願望、要望ですね。

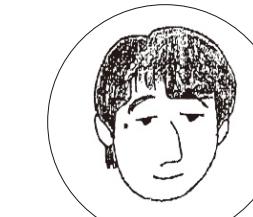


熱意とこだわりの仕事師
[大工・設計監理]立花慶次

「泣いて暮らすも一生、笑って暮らすも一生」

人の人生一生には楽しことや苦しいこと、哀しいことがいっぱいあるが、一生に一度の人生だから、楽しく暮らさなければ損になる。

仕事の魔術師
[営業主任]今井治彦



設計の匠
[設計課長]鈴木浩司

「失敗は成功のもと!」

何か失敗しても、その経験が糧となって未来につながる…！ そう信じたいです。

「三人寄れば、文珠の知恵」

仕事でもプライベートでも、困難にぶつかった時は、自分ひとりで考えるより、人と話すことであつても良い解決策が生まれます。



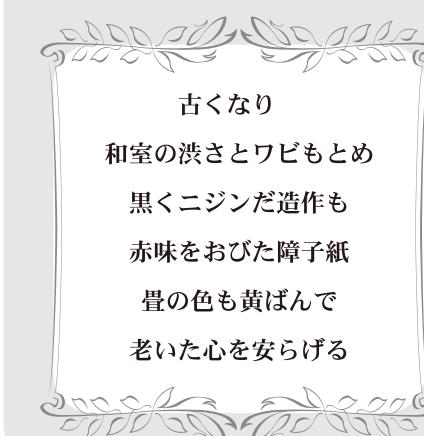
輝く女性の感性
[設計]井上佐智子

ホーミー教室

和室

Japanese room

テーブルとイスの生活が主流となった今、あらためて日本の風土にあった和室が注目されています。落ち着きや趣きがあって、なおかつ寛げる、万能な部屋です。



日本の住宅の醍醐味は、古くなった和室の渋さや寂しさです。

しかし、古くなってしまった和室本来の味を出すには、ある程度の材料の選択と大工職やその他の職人の優れた技術も必要です。

出来れば客間だけでも古くなればなるほど、その良さを増してゆくような造作をしたいものです。

「住む人の豊かな人格を偲ばせる客間」、これも「幸福を生む住まい」の要因のひとつという事が出来るでしょう。